

# 第一回 低血糖症治療の会 (発起会)

治療の会で持たれた集いの報告です。引用の際はご連絡ください。

会場	ホテルグリーンタワー幕張(千葉市美浜区ひび野 2-10-3) 電話 043-296-1122 「スカイ・バンケットルーム」20階	
日時	2006年1月26日(木)朝10時半～午後3時	
スケジュール	10:00 受付	
	10:30 挨拶と世界の治療の状況	事務長; 柏崎久雄
	10:50 低血糖症と神経伝達物質	院長; 柏崎良子
	11:30 低血糖症と自分の体験	顧問; 大沢博教授
	11:50 栄養食品の摂り方	管理栄養士
	12:10 食事	ホテルのお弁当
	12:40 自己紹介と会への要望	なるべく全員
	14:00 会の活動内容・運営方針・会費など	の打ち合わせ
	15:00 終了	

当初は、マリヤ・クリニックの待合室でもたれる予定でしたが、予想を超えた参加申し込みがあり、急遽会場をホテルに変更しました。

40名くらいの申し込みまでは、職員で昼食を作り披露しようと打ち合わせておりましたが、70名を超える申し込みでホテルの提供するお弁当となりました。そのような外食の際の栄養指導として、体調が悪くなったり眠くならないようにするための栄養素を試食してもらいました。

院長の講演「脳と神経伝達物質」については、会報第一号に載せる予定です。

大沢先生からは、低血糖症に関わる経緯や御自分の体験を語っていただきました。

た。

クリニック事務長の柏崎からは、これまでのマリヤ・クリニックの低血糖症との関りの経緯と、低血糖症治療の課題などが提言されました。せっかく低血糖症のことが広まり始めたのに、栄養剤だけを処方して、これで低血糖症が治るという医師が多く、これでは低血糖症の治療だけではなく、栄養医学というものも誤解されるのではないか、と懸念しています。

栄養指導は、外に出かけたときの手軽な栄養素の摂取により、体調の変動を抑えられることをアドバイスし、また午後に低血糖症の特徴である眠気を催す人もなく、その効果が示されました。

その後には、感激の患者さんたちの体験談でした。涙ながらに、低血糖症の闘病体験を語ってくださり、マリヤ・クリニックとの出会いの経緯を聞きました。また、治療に不安を覚えていた人も、他の人の改善例を聞いて非常に励まされたようでした。今後の治療の会の発展を促されるものです。